

野崎工業株式会社

独自の印刷ノウハウで 高度な偽造防止印刷を実現

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



様々な偽造防止印刷

主な事業内容

ビジネスフォーム印刷など各種印刷、
クラウド型名刺発注サービスなど

主な取引先(納入先)

大手コンビニエンスストア、
家電メーカー、金融機関、自治体など

主な製品

すかし印刷、偽造防止印刷、
マイクロ文字印刷、年賀状印刷など

業務内容 帳票印刷で基盤を確立 成長軌道へ

野崎工業は、日本電信電話公社（現NTT）の電話帳印刷から事業をスタートした。昭和49年には、中核事業となるビジネスフォーム印刷に進出。オフィスPCが普及し、帳票の受託印刷市場が活況に沸く中、大手総合スーパーからの大口受注によって事業は急成長した。この顧客の傘下に、急速に店舗数を増やすコンビニエンスストアチェーンがあった。コンビニエンスストアの成長とともに事業は急拡大し、これに伴い、磨き上げた高度な印刷技術は新たな顧客開拓につながった。デジタル技術とWebコンテンツの拡大による印刷物減少の中、設備を最大限に生かすノウハウを蓄積し、自社の強みが生きる新たな分野を開拓し続ける。

強み 整備の行き届いた設備と ノウハウが競争力

「印刷は生き物」と、山森典穂社長は言う。印刷の仕上がりは印刷機の状態や外部環境で変化する。最良の状態の設備を、腕利きのオペレータが操作して初めて高品質に印刷できる。印刷物は小さな点（網点）の集まり。コピー

新市場 印刷物が求められる 市場に挑戦

すると文字が浮き出る偽造防止印刷は、網点の大きさを認識できる人とカラーコピー機の能力の違いを利用する。柄付きや他柄載せのカモフラージュは容易だが、同社は単色・平網の印刷も実現した。近年は肉眼で読み取れないマイクロ文字の印刷も手がける。デジタル製版と自社設備に最適化したノウハウにより網点の面積を1%単位で調整する。

ノウハウが生きるアナログ印刷に軸足を置きながら、デジタルのオンデマンド印刷にも対応する。印刷業界はデジタルコンテンツに押されながらも、同社は新たな市場を狙ってきた。代表的なサービスがクラウド型名刺発注システム「ユニカード」。契約企業の社員が必要事項を入力すると、その企業のレイアウトルールにもとづく印刷用のデータを作成し、簡単に発注できる仕組みだ。名刺制作の効率化とレイアウトの統一が図れると大手企業の採用が広がる。「おもしろい事業に取り組みたい」と山森社長。将来は紙以外にも印刷できるUV印刷機を活用し、ペット産業や観光産業と協業するサービス展開なども考える。

社長あいさつ



代表取締役社長
のりほ
山森 典穂さん

当社は地域に愛される“地域企業”をめざしています。このため技術とサービスをしっかりと拡充していきます。印刷に関わることは、何でもご相談ください。最近は企業の総務部門ともお付き合いさせていただいています。このような総務関連業務のアウトソーシングの受け入れも検討しつつあります。

主な保有設備

- オフセットBF輪転印刷機 MVP型ほか ミヤコシ製ほか 8台
- ロールコーレータ（丁合機） TRC-136ほか 太陽機械製作所製 2台
- 高速UVインクジェットプリンター SJ-500 浮田工業製 1台
- オンデマンド印刷機 bizhub PRESS C1085ほか コニカミノルタジャパン製 5台
- UV-LED硬化インクジェットプリンター UJF-6420MkII ミマキエンジニアリング製 1台

大阪
04

住 所／〒574-0015
大東市
野崎4-11-26
T E L／072-879-0011
F A X／072-878-9786
創 業／昭和43年8月
設 立／昭和43年8月
資本金／9,000万円
従業員／90名



マイクロ文字はルーペで確認する



VE提案した半透明クーポン封筒



<https://nozakikogyo.jp/>